

青陽須磨だより

第27号

発行 神戸市立青陽須磨支援学校
編集 総務部教務係広報担当
住所 〒654-0155
神戸市須磨区西落合1丁目1番4号
TEL.078-793-1006 FAX.078-793-1007
<http://www2.kobe-c.jp/ses-se/>

「笑顔」をありがとう

校長 竹内 寛子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度は、小学部 19 名、中学部 32 名、高等部 35 名、合計 86 名の皆さんが卒業されます。皆さん一人一人が、精一杯個性を輝かせてくれました。特に、久しぶりの土曜日開催の学校祭では、一人一人が輝く素晴らしいステージになり、感動しました。新しい門出にあたり改めて「おめでとう」の言葉を送ります。

「笑顔」には、大きな効果があります。挨拶は、人間関係を円滑にする潤滑油と言いますが、「笑顔」は周りの人を幸せにする感動創造の基本的スキルと言えます。穏やかな心もち、感謝の気持ちなどが、自然と表情となり、周りの人を幸せにします。青陽須磨支援学校の皆さんの「笑顔」は素敵です。色々な学校行事での皆さんのやり切った時の「笑顔」は

とても素晴らしいです。その「笑顔」で、先生方や周りの人を幸せな気分にくれているのです。誰かの「笑顔」を目にすると、人は幸福感のスイッチが入り、自然と誰もが「笑顔」になるものです。

保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。成長されたお子様を見るにつけ感慨もひとしおのことでしょう。深い愛情をもつてのこれまでの子育てに対して、改めて敬意を表したいと思います。

卒業生の皆さんは、4月から次のステージに進みます。高等部3年生は、社会に羽ばたいていきます。これからも「笑顔」を大切に、そして、笑顔の輪がどんどん広がって行くことを願っています。これからの活躍に期待しています。

希望へと続く、君のゆく道

教頭 寺沢 光明

頼れる仲間や先生たちと共に過ごしたかけがえのない学び舎。時を繋いで磨き、築き上げてきた経験や思い出を胸に、卒業生の皆さんはこの4月から新たなステージに進みます。この先、慣れない環境に身を置くことになっていきますが、人と同じようにできなくても大丈夫です。むしろ、自分がこれまで培ってきた自分オンリーの力を大切にしてください。困ったことがあっても温かく支援してくださる大人は近くに必ずいます。自分でできる手段で助けを求めたり、思いを伝えたりすることは、皆さんの生きるための大切な権利です。自信を持ってください。離れていても、私たちは皆さんの健康と活躍を心から願い、エールを送り続けています。

高等部3年の皆さんは身も心も一段とたくましくなって本校を離れ、成人として地域社会に羽ばたいていくことになります。不安はあるかもしれませんが、是非「希望」は持ち続けていてください。どんなことでも構いません。やりたいことがあれば、臆せず挑戦してみましょう。試してみないとわからないことが世の中にはたくさんあります。

皆さんの成長の軌跡を垣間見たことの1つに、朝のランニングがありました。燦燦と照り輝く太陽の光が眩しい夏の日も、寒さに凍え冷気に震える冬の日も、ゴールを目指してひたむきに走り抜く姿は実に尊く、清々しさに包まれていました。「継続は力なり」、この言葉の意味するところを改めて感じ取ることができました。

保護者の皆様、卒業というハレの日までの長きに渡り、お子様を全力で支えていただき、本当に感謝しております。学校生活で培った経験や思い出は、かけがえのない宝物として、前を行く道をほんのり照らし続けてくれることでしょう。今後ともどうか健康には十分にご留意ください。毎日の安寧を心よりお祈りしています。

～ 蒼穹に 翼を広げ 巣立つ君 ～ 光明

一步を踏み出す勇氣

教頭 菊池 貴史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業という大きな節目を迎えられる皆さん、今どんな気持ちですか。小学部、中学部の皆さんは、学校行事等で活躍する先輩方の姿を見て、「自分もやるぞ」という希望に満ちあふれていると思います。これまで学んできたことを次のステージでも十分に生かし、ステップアップしていきましょう。

高等部の皆さんは、いよいよ青陽須磨支援学校からの卒業です。とても大きな門出ですね。これからのことを考えると、期待感だけでなく「やっていけるのかな」といった不安を感じている人もいないのでしょうか。

そんな大切な節目を迎えられた皆さんに私から一つ、伝えたいことがあります。それは「勇気を出してはじめての一步を」ということです。環境が変化すると、今まで経験したことがなく、どうしていいかわからず戸惑ってしまうことがあるかもしれません。しかし、そこで勇気を出してはじめての一步を踏み出してほしいと思います。小さな一步で構いません。うまくいかなければ、半歩戻ってもいいです。踏み出したその一步が新しい自分を切り拓いていく一步になります。そして、その一步を応援したり支えてくれたりする周りの人たちが必ずいます。青陽須磨支援学校の先生たちも皆さんの一步を応援する応援団です。覚えておいてください。

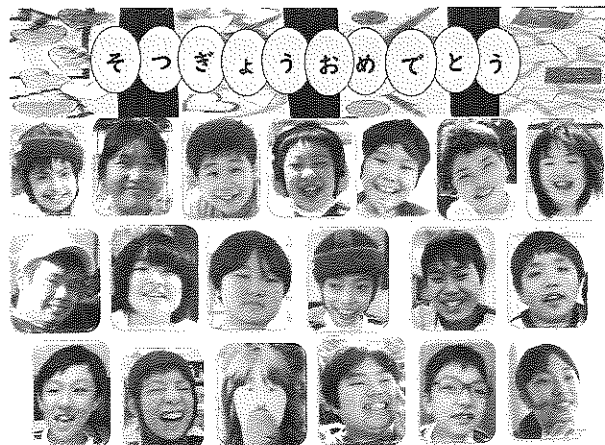
保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。これまでの本校教育へのご理解、ご協力、誠にありがとうございました。

小学部 ご卒業 おめでとうございます

いっぱい笑って、いっぱい泣いて、いっぱい怒って、いっぱい喜んだ6年間。
 できないことが少しずつできるようになり、心も体もととても大きくなりました。
 たくさんの友達や先生と出会った6年間。
 取り組むことさえ難しかったことを、友達や先生と一緒に「何だか挑戦できる！」ようになりました。
 自分のペースで、学校やデイサービスに通い続けることができた6年間。
 「続ける」ことは、本当に大変なことです。それを成し遂げてきた自分をたくさんほめてください。そして、一番近くで支え「続けて」きたご家族の方々にありがとうの気持ちを伝えましょう。

大好きな6年生のみなさんに先生たちからメッセージを送ります。

まわりの人や たくさんの 友だちに 愛され 支えられて
 ひとつずつ 前へ進んできた 6年生のみなさん
 この6年間で いく百 いく千ものことに 挑戦してきましたね
 いつも 周りを明るくしてくれる 陽気な子
 ニコニコ 晴れた笑顔で 登校する子
 タイプも 好きなものも みんな違うけれど
 これからも あなたのペースで
 のびのびと 一歩ずつ 歩んでいってください
 そして あなただけの ハートをピカピカに 磨いてください
 みなさんが 頑張ったことは やがて根がはり 幹となり 枝葉がのび
 小さいけれど 白い 梨のような 輝く花となって
 出会う人に 幸せを 分け与えてくれることでしょう
 蒼くすみきった 弘い空へ いざ翔びたて！
 いつの日か みんなの夢が叶うことを 願って
 慈しみ深き 6年生19名のみなさん ご卒業 誠におめでとうございます



青陽須磨 学校祭 2023

テーマ「えがおいっぱい 十人十色 みんなでつくろう な
 ないろのぶたい」を合言葉に、「青陽須磨 学校祭 2023」が、
 【展示・販売の部】11月17日(金)、【ステージの部】11月18
 日(土)の2日間の日程で開催されました。

【ステージの部】ではステージ演技発表が行われました。各
 学部・学年、どの演技も児童生徒が持ち味を存分に発揮し、
 一人ひとりが輝いた素敵なステージとなりました。また、演
 技のテーマ、構成にそれぞれの集団の色が反映されており、
 笑いあり、ときに涙ありと、会場の雰囲気もぐっと引き込ま
 れていました。拍手喝采の中、達成感を抱きながら退場して
 いく児童生徒のたくましい姿が見られました。

【展示・販売の部】では、作品展示見学、須磨っ子バザール、
 外部販売が行われました。

展示見学では、児童・生徒が日ごろから一生懸命に取り組ん

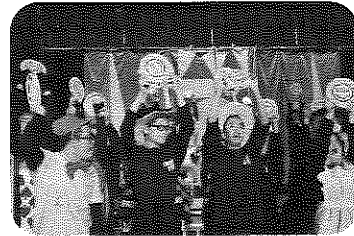
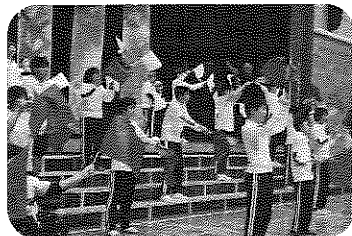
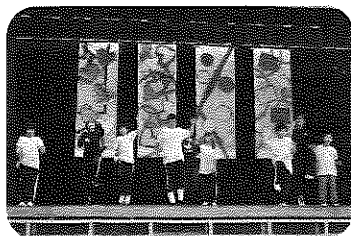
でいる学習の様子や作品がたくさん展示されており、どの作品
 からも児童・生徒の気持ちが伝わってくるものとなっていました。

須磨っ子バザールでは、高等部の生徒が中心となり、作業学
 習の時間に心を込めて作った商品を販売しました。購入してい
 ただいたときの生徒たちの嬉しそうな笑顔が印象的でした。

今年度は実習や卒業後にお世話になっている事業所に来てい
 ただき外部販売を行われ、大盛況となりました。

今年の学校祭では、「えがおいっぱい 十人十色 みんなで
 つくろう なないろのぶたい」をテーマに取り組み、一人ひと
 りが個性を発揮し、笑顔いっぱいの素晴らしい学校祭となりま
 した。

また学校祭のアンケートでは、たくさんのご感想をお寄せい
 ただき、感謝いたします。ご感想の文面から多くの方に感動し
 ていただけたことがうかがえました。子どもたちや教師の励み
 となりました。保護者の方をはじめ、本校関係者の皆さまにい
 ろいろな場面でご協力いただきありがとうございました。



人との出会いを大切に

支援部 藤田 早希

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

小学部・中学部の皆さんは、卒業してそれぞれ新しい学部へ進みます。新しい環境へ進んでいくことはドキドキやワクワクの連続でしょう。毎日一生懸命頑張ってきた皆さんならきっと大丈夫、自信をもって新しい学部を楽しみにしてくださいね。

高等部の皆さんは、いよいよ社会に巣立っていきます。

私が初めて支援学校に来た12年前、担任を受け持った小学部1年生の子どもたちが、今年高等部を卒業します。当時は、まだ小さくて可愛らしい印象のあった彼ら。今の高等部3年生の姿を見て、小さかった彼らを思い出して、胸が熱くなることが数多くありました。修学旅行から帰ってきたときの晴れやかな笑顔、学校祭のステージ上での凛々しい表情、教室にいるときの朗らかな笑顔、授業中に一生懸命作業に取

り組む真剣な姿…どの姿も最高学年として、とても立派な姿でした。私は、皆さんの姿を見て、ひたむきに努力することの大切さ、仲間を大切に思う気持ちのあたたかさ、自分らしく生き輝くことの素晴らしさなど、たくさんのことを学びました。

新しい場所では、きっと多くの出会いがあると思います。新しい出会いには、期待する気持ちの反面、緊張や不安を感じることもあるでしょう。でも、そこで出会う人たちは、皆さんをあたたかく見守り、支え、助けてくれる人が必ずいます。人との出会いを大切に、過ごしてほしいと思います。今まで学校生活で、友達や先生方と学んできたことや身につけてきたことに自信をもって、自分らしく新しい道へ進んでいってください。皆さんのこれからの活躍を応援しています。

為せば成る為さねば成らぬ、何事も

進路指導部 武富 治敏

ご卒業おめでとうございます。

昨年度までは担任、進路指導としてみなさんと一緒に学校生活を送っていました。今年からは進路指導として様々な事業所や施設で先輩たちが社会に出て活躍する姿を見させてもらい、まだまだ知らないことも多く、私自身大変勉強になりました。

高等部のみなさんは、12年の学校生活を卒業ですね、小学部に入学してからは日々、様々なことにチャレンジし、新しい自分を発見していく毎日を送ってきたことでしょう。高等部では、卒業に向けて自分を振り返り、今持っている力でどこに進もうか不安と期待が渦巻く中で一生懸命に進路を選ぶ姿がありました。たくさん悩んで決めた新しい環境で、少しでも長く活躍できるよう応援しています。

卒業生のみなさんに送りたい言葉に「為せば成る、為さね

ば成らぬ何事も」という言葉があります。これは江戸時代の上杉鷹山の言葉で「行動すればできる、行動しなければ何もできない」という意味があります。私も新しいことにチャレンジする際には常に心に留めています。これと似たものに「1万時間の法則」というものが数年前に流行りました。何事も1万時間を積むことができれば、それなりのプロフェッショナルになれるというものです。一日3時間取り組むと10年ほどかかる計算です。最初はうまくいかないことも多いと思いますが、ほとんどの人がそうです。続けているうちにきつと上達していきます。

自分らしく輝けるよう自信を持って新しい学校生活、社会生活をスタートできることを願っています。

改めまして、ご卒業おめでとうございます。